小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	設備システム論		
科目基礎情報							
科目番号	0001		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	複合工学専攻 (建築学コース)		対象学年	専2			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	伊藤真人「建築家のための建築環境デザイン」オーム社						
担当教員	佐藤 篤史						
到達目標							
設備をシステムとしてとらえ、俯瞰的な視点から建築設備を説明できること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	設備をシステムとしてとらえ、俯瞰的な視点から建築設備を明確に説明できる。		設備をシステムとしてとらえ、俯瞰的な視点から建築設備を説明でき。		設備をシステムとしてとらえ、俯瞰的な視点から建築設備を説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ④ JABEE (D)							
教育方法等							
概要	建築設備による省エネルギー計画、建物用途別の設備計画						
授業の進め方・方法	主として講義によるが、適宜設備の見学会などを実施する						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	1. 設備システム概論・設備学の基礎				
		2週	2. 地球環境問題・都市環境問題				
		3週	2. 省エネルギー法の意義と意味				
		4週	4. 建築と設備の融合化				
		5週	5. 環境・省エネルギー計画				
		6週	6. 電気設備計画				
		7週	7. 設備見学会				
		8週	8. 中間レポート				
	4thQ	9週	9. 衛生設備計画				
		10週	10. 空調設備計画 I				
		11週	11. 空調設備計画 II				
		12週	12. 管理・総合建築設備計画				
		13週	13. 医療・福祉施設の設備計画				
		14週	14. 寒冷地、展示・収蔵、美術館など、特殊な地域、建築の設備				
		15週	15. 解説、総論				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	0	70	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	30	0	0	70	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0